

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

|                                |                  |
|--------------------------------|------------------|
| I. 理念に基づく運営                    | 項目数<br><u>11</u> |
| 1. 理念の共有                       | 2                |
| 2. 地域との支えあい                    | 1                |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3                |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3                |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2                |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援          | <u>2</u>         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1                |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1                |
| III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント  | <u>6</u>         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1                |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2                |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1                |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2                |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援      | <u>11</u>        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9                |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2                |
| <b>合計</b>                      | <b><u>30</u></b> |

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 事業所番号 | 2191400015          |
| 法人名   | メディカル・ケア・サービス東海株式会社 |
| 事業所名  | 憩いの里 ふしみ            |
| 訪問調査日 | 平成19年7月5日           |
| 評価確定日 | 平成19年7月30日          |
| 評価機関名 | NPO法人 旅人とたいようの会     |

**○項目番号について**  
 外部評価は30項目です。  
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。  
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

**○記入方法**  
 [取り組みの事実]  
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。  
 [取り組みを期待したい項目]  
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。  
 [取り組みを期待したい内容]  
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

**○用語の説明**  
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
 家族 = 家族に限定しています。  
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。  
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。  
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

# 1. 評価結果概要表

作成日 2007年7月8日

## 【評価実施概要】

|       |                                     |
|-------|-------------------------------------|
| 事業所番号 | (※評価機関で記入) 2191400015               |
| 法人名   | メディカルケアサービス東海株式会社                   |
| 事業所名  | グループホーム「憩いの里」ふしみ                    |
| 所在地   | 可児郡御嵩町上恵土333番地<br>(電話) 0574-67-8526 |

|       |                |       |            |
|-------|----------------|-------|------------|
| 評価機関名 | NPO法人旅人とたいようの会 |       |            |
| 所在地   | 大垣市伝馬町110番地    |       |            |
| 訪問調査日 | 平成19年7月5日      | 評価確定日 | 平成19年7月30日 |

## 【情報提供票より】(平成19年5月31日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |           |    |   |
|-------|-----------|----|---|
| 開設年月日 | 平成18年8月1日 |    |   |
| ユニット数 | 2 ユニット    | 18 | 人 |
| 職員数   | 16        | 16 |   |

### (2) 建物概要

|      |       |      |      |
|------|-------|------|------|
| 建物構造 | 鉄骨造り  |      |      |
|      | 2階建ての | 1階 ~ | 2階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |            |                |          |       |
|---------------------|------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 30,000 円   | その他の経費(月額)     | 10,000 円 |       |
| 敷金                  | 有( 円) 無    |                |          |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 120,000 無  | 有りの場合<br>償却の有無 | 無        |       |
| 食材料費                | 朝食         | 250 円          | 昼食       | 350 円 |
|                     | 夕食         | 450 円          | おやつ      | 円     |
|                     | または1日当たり 円 |                |          |       |

### (4) 利用5月1日現在

|       |    |      |    |     |     |     |
|-------|----|------|----|-----|-----|-----|
| 利用者人数 | 名  | 男性   | 4名 | 女性  | 14名 |     |
| 要介護1  | 6名 | 要介護2 | 7名 |     |     |     |
| 要介護3  | 4名 | 要介護4 |    |     |     |     |
| 要介護5  |    | 要支援2 | 1名 |     |     |     |
| 年齢    | 平均 | 84歳  | 最低 | 77歳 | 最高  | 90歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |      |
|---------|------|
| 協力医療機関名 | 可児病院 |
|---------|------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの2階からは木曾川が眺められ、住宅地に近く、散歩の途中には地域の人たちとふれ合うことができる。季節に応じた壁面飾りの大作を利用者全員で製作し、花作りの好きな職員のサポートで花壇や畑を作る最適な環境である。ホーム独自の理念も掲げられその実現に向けて地域の方の理解と支援を得られるように努め、利用者と共に理念を共有しながら、ケアの質の向上に取り組んでいる。

## 【重点項目への取り組み状況】

|       |   |
|-------|---|
| 重点項目① | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)  |
|       | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)   |
| 重点項目② | 管理職の交代に伴い、全職員が初心に帰って、評価を形式的な作業に終らせず、ねらいや活用方法を理解するよう努めながら、サービスの質の確保、向上の向けて前向きに取り組んでいる。   |
|       | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)  |
| 重点項目③ | 運営推進会議には管理者が交代したばかりなので、なじみの関係をつくるよう、出向いたり電話をしたり、日曜日の訪問時に合わせたり、家族の方に話しやすい雰囲気作りをしている。町の職員も参加され、地域密着の理念を掘り下げ、外部評価の結果を運営推進会議に公表し、改善に向けた取り組みにつなげようとしている。 |
|       | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)   |
| 重点項目④ | 家族の安心を確保し、信頼関係を築くために毎月ホームだよりを発行したり、金銭について、用途の確認や金銭出納帳を明示し、訪問する家族の承認印を頂き、訪問されない方には郵送している。また、手紙や訪問時に、常に声かけをし、家族からの意見、不満、苦情をしっかりと受け止め、運営に反映させる努力をしている。 |
|       | 近隣の職員が2名おり、地域の情報が入りやすく、自治会や祭りにも参加をしている。近所のボランティアさんに、日舞やフラダンスを教えてもらったり、高校生の職場体験を受け入れ、保育園の訪問もあり、様々な世代と地域と交流、連携している。                                   |

## 2 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                |
|--------------------|----|---|--|------|---|
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |    |   |  |      |   |
| <b>1. 理念と共有</b>    |    |   |  |      |   |
| 1                  | 1  | ○地域密着型サービスとしての理念<br>地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                  | 地域密着型サービスとしてのこの事業所独自の理念をもち、利用者が、その人らしく暮らし続けられるよう常にサポートし、市町村、自治会を巻き込み、日々実践している。 | ○    | 法人の理念、このホームの理念をより地域の中で、その人らしく生活できるよう、年間計画を作成し明確化し、評価出来るよう期待したい。 |
| 2                  | 2  | ○理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 毎朝申し送りの時唱和し職員は、自分の言葉でいえる。毎日の散歩、高校生の職場体験、外食等の機会を通して地域とふれ合える機会を作っている。            |      |   |
| <b>2. 地域との支えあい</b> |    |   |  |      |   |
| 3                  | 5  | ○地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 職員に2名地元の方がおり、大家さん、自治会長、民生委員達が知り合いで、素早く情報を得参加し地域の行事等を通じて、地元住民と交流している。           |      |   |
| 4                  | 7  | ○評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 管理者の交代に伴い、職員全員で初心に帰り、サービスの評価の意義や目的や課題を振り返り、サービス質の確保、向上に取り組んでいる。                |      |   |
| 5                  | 8  | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 運営推進会議には民生委員、市町村、自治会長、家族2名、利用者と幅広い立場の参加を促し、多くの意見を引き出し改善に向けた取り組みをしている。          |      |   |

| 外部              | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)  |
|-----------------|----|--|---|------|---|
| 6               | 9  | ○市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 毎月電話にて利用者の現状報告をしており、市町村担当者と課題解決の向けて協同している。入居希望が多いためアドバイスをうけている。                       | ○    | 管理者が交代したばかりなので、月1回は挨拶に伺っている。、さらに、グループホームのサービスの状況・取り組み等を報告されるなど、市町村担当者との積極的な関係づくりに期待したい。 |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |  |   |      |   |
| 7               | 14 | ○家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 家族の安心を確保し信頼関係を築くために毎月ホームだよりを発行し「今」を大切に伝え伝えている。金銭管理も家族の印で確認している。また、訪問の少ない家族には郵送している。   |      |   |
| 8               | 15 | ○運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 管理者が先頭に立ち、利用者の家族の意見・不満・苦情を積極的に聴く努力をしている。また、運営推進会議に家族の意見不満、相談を受け止め、書類に残し、質の向上に反映させている。 |      |   |
| 9               | 18 | ○職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 馴染みの関係づくりが大切にし、新職員に、スムーズに移行できるよう配慮している。また、職員交代について、管理者が利用者の家族に訪問時に説明したり、電話連絡している。     | ○    | 職員の交代時に、家族の方への連絡を文章化し、素早く、丁寧に連絡し、すべての利用者の家族に、不安や不満のない、更なる配慮を期待したい。                      |
| 10              | 19 | ○職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 運営者は職員育成の重要性を認識し、法人内のそれぞれのレベルの研修会に参加させ、段階的に学びに機会を確保している。法人外の外部研修はまだ参加していない。           |      |   |
| 11              | 20 | ○同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 事業所の質の確保の為に、他の事業所へ訪問し、参考になる点をホームへ持ち帰り取り入れている。また、いつも交流出席できるようなネット会にも参加し情報交換をしている。      | ○    | 知り合いの事業所と情報交換しているので、グループホームの見学や相互研修会での事例検討等を取り入れ、サービス質の向上のために、更なる取り組みを期待したい。            |

| 外部                                 | 自己 | 項目   | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------------------|----|--|---|------|--|
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>         |    |  |   |      |  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応          |    |  |   |      |  |
| 12                                 | 26 | ○馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族と一緒にの日帰り見学体験や、家族等と十分に話し合いながら、馴染みながら入居できるよう配慮されている。   |      |  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援          |    |  |   |      |  |
| 13                                 | 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 人として共に過ごし合えるよう、協同しながら、穏やかな生活をできることめざし、料理の味付けや切り方、草取りの方法等教えてもらいお手伝いしていただいたり、百人一首を職員と一緒にいたり、共に支え合う関係を築いている。 |      |  |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |  |   |      |  |
| 1. 一人ひとりの把握                        |    |  |   |      |  |
| 14                                 | 33 | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 利用者がその人らしく暮らし続ける支援に向けて「聞いても無理」ときめつけずに状況を見ながら、声かけ、話し合いの回数を増やしたり、ケアカンファレンスにも利用者にも参加してもらっている。                |      |  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し     |    |  |   |      |  |
| 15                                 | 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している        | その人らしく暮らし続けることの出来るために、介護計画を利用者の意向や思いが反映できるように、アセスメントを含め利用者、家族、医師、職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行い、作成している。      | ○    | 今後は、定期的に訪問している、ボランティアさんにも参加してもらおう予定です。事業所内外の意見や要望を聴き、それぞれの意見やアイデアを反映した利用者本位の介護計画になることを期待したい。 |
| 16                                 | 37 | ○現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している    | 設定された期間の見直しは勿論。期間にとらわれず臨機応変に見直ししていくために、緊急カンファレンスを行い、家族も含めて、その時々のお気持ちや意見を反映させるプランの追加や見直しを行っている。            |      |  |

| 外部                                 | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)   |
|------------------------------------|----|---|--|------|--|
| <b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>           |    |   |  |      |  |
| 17                                 | 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                           | 地域住民や利用者が求める多機能性に事業所としてどのような対応や配慮がよいのかを模索中である。また、3年後をめざし、認知症対応型通所介護、短期利用共同生活介護、医療連携体制加算などの介護保険サービス事業の追加を検討中である。        | ○    | 事業所が、介護保険サービス以外で、利用者と家族が安心して暮らし、続けていくための必要な多様な支援を自主サービスとして、いかに提供していくか、検討していただきたい。  |
| <b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b> |    |   |  |      |  |
| 18                                 | 43 | ○かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 入居者の馴染みの病院を希望する利用者には、基本的には家族対応で受診しているが、家族が対応できない場合は職員が代行している。ホームの協力医とも情報を互いに共有している。                                    |      |  |
| 19                                 | 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 新しい施設のため、重度の利用者やターミナルの利用者を受け入れた経験はないが、重度化した場合や終末期のありかたなどを契約時に、家族の意向を確認している。家族、医師、職員全員で支援する体制を準備しつつある。                  | ○    | 重度化や終末期のあり方、対応の仕方について、研修会等を行い、事業所のできる最大の支援方法について、医師、看護師を交えて、職員全員で話し合い、事業所の方針を統一することを期待したい。また、できるだけ早期から、本人、家族、スタッフ、かかりつけ医等が状況の変化をみながらに、繰り返しの話し合いと段階ごとの合意の積み重ねを望みたい。 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>   |    |   |  |      |  |
| <b>1. その人らしい暮らしの支援</b>             |    |   |  |      |  |
| <b>(1)一人ひとりの尊重</b>                 |    |   |  |      |  |
| 20                                 | 50 | ○プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | 高齢者介護の最大のキーワードは「尊厳」でありそれを管理者、職員が徹底を図っている。職員の入社時の誓約書にもプライバシーの保護の徹底や個人情報の漏洩防止の責務を義務づけ、同意を得ている。日頃、個人情報の取り扱いも十分に配慮、注意している。 |      |  |
| 21                                 | 52 | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 利用者が主体となって、その人らしく暮らし続けることのできる支援を基本としている。例えば朝食も、利用者のペースに合わせて、自由な時間にとる事ができる。利用者の状態や希望を尊重し、個別性ある支援をしている。                  |      |  |

| 外部                            | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)  | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む)                                     |
|-------------------------------|----|---|--|------|--|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |   |  |      |  |
| 22                            | 54 | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 利用者が育て、収穫した野菜をメニューに加え、買い物・調理・片付けの食事一連の作業・準備を職員と共に行い、男性利用者も一緒にエプロンやバンダナを着け楽しいそうである。職員も全員同じテーブルに付き、共に楽しく食事をしながら支援している。   |      |  |
| 23                            | 57 | ○入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 朝風呂や夕食後の入浴も可能であり、散歩の途中でつんだよぎや沐浴剤を入れる等、くつろいだ気分で入浴出来るなど、一人ひとりの希望やタイミングに合わせてたり、入浴を楽しむ支援している。                              |      |  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |   |  |      |  |
| 24                            | 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 日々の暮らしが、楽しみや張り合いのあるものになるように支援している。花をつくったり、裁縫の上手な利用者には縫いものをしてもらったり、掃除は全員で行い、車椅子の利用者には手すりを拭いてもらう等の一人ひとりの役割や、楽しみの支援をしている。 |      |  |
| 25                            | 61 | ○日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 朝の散歩を日課に取り入れ、雨の日でもポーチの下にベンチを置き、戸外へ出られるよう工夫をしている。また、個別に喫茶店や買い物に行くなどの外出支援をしている。車椅子の利用者にも同じように対応されている。                    |      |  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |   |  |      |  |
| 26                            | 66 | ○鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 鍵をかけない暮らしの大切さは理解している。玄関では見守り、出かけようとする利用者がある場合、さりげなく解錠し、できるかぎり鍵をかけない工夫をしている。リスクを考え家族に相談し了承を得、鍵を掛けている場合もある。              | ○    | 鍵をかけないケアの実践について、全職員で勉強会をして、日中、鍵をかけないで暮らせる努力をする意識や姿勢を徹底させていくことを期待したい。 |
| 27                            | 71 | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 消防署の協力を得て避難訓練を行っている。その他、空調、エレベーターの点検等、定期的に行っている。地域の住民の協力も得、マニュアルも作成されている。  |      |  |

| 外部                         | 自己 | 項目  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)   | (○印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|---|---|------|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |   |   |      |                                  |
| 28                         | 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 本部からの栄養士のたてた献立で調理、管理している。さらに、朝取れたじゃがいもを昼食に使用する等、楽しい献立もある。水分量も全員記録に残し、職員が情報を共有し、糖尿、嚥下、義歯等に対応し、一人ひとりに合わせた支援をしている。 |      |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |   |   |      |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |   |   |      |                                  |
| 29                         | 81 | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節にあわせて、居間の中央には七夕飾りを飾り、利用者達で、作製した大きなちぎり絵や、ねじり絵の花が季節感を出し共有の空間にもいっぱい花を飾り、居心地良い場を整えている。また、共用空間の清潔の保持に努めている。        |      |                                  |
| 30                         | 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                     | 利用者一人ひとりの部屋には家族の写真が飾られ、使い慣れた、馴染みの家具が持ち込まれ、その人らしい暮らしを続けることができる居室が工夫されている。  |      |                                  |